

都市デザイン50周年企画について（報告）

1. 趣旨

本市では、1971年に企画調整室に「都市デザインチーム（担当）」が設置され、2021年で「50周年」を迎えます。

これまで、様々な事業や制度と連携しながら、横浜ならではの個性や、人間を大切にした魅力ある都市空間づくりを進めてきましたが、50周年の節目に、これまでの取組を振り返るとともに、これから先の都市づくりの中で、都市デザインが果たすべき役割について考える1年とします。

2. 取組の概要について

令和3年度の1年間を通じて、大きく次のフェーズに分けて取組を実施していきます。

（1）横浜・都市デザインの50年を振り返る

これまでの横浜都市デザインの取組やその成果、課題などを知るとともに、都市デザインが果たしてきた役割や手法について学び、次の取組へのヒントとする。

①市庁舎内（プレゼンテーションスペース）展示

広く市民や職員をターゲットとし、数回に分けて年代順に取組を周知・PRする。

②講演会

庁内外のまちづくり関係者や、年度後半に開催する「未来会議」参加者をターゲットとし、テーマ別に過去の取組について掘り下げる。

③シンポジウム

①②の内容を総括し、都市デザインの果たしてきた役割や手法等多角的に総括し、今後の取組へのヒントを探ります。

（2）横浜の未来（これからの50年）を描く

①庁内横断会議

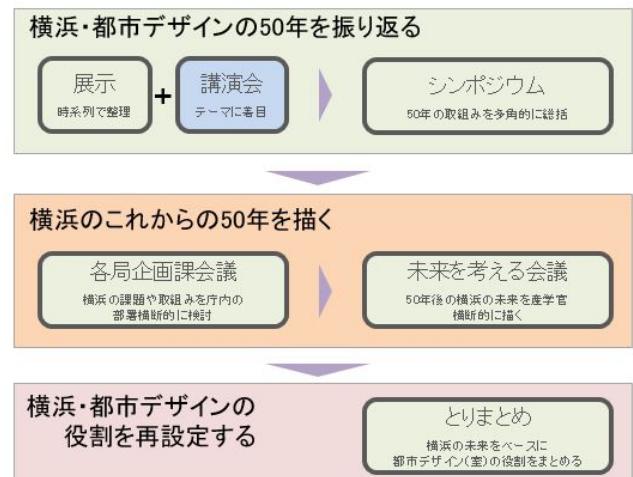
今後の都市や、都市をとりまく状況について、都市マスタープラン改定の議論と連動しながら、若手職員を中心に局を横断して議論する場を設けます。またそこで得られた方向性について、「未来会議」の議論へ繋げます。

②未来会議

官・民・学から多様な人材に参加してもらい、横浜の未来（これから50年）を描く連続ワーキングショップを開催します。

（3）未来に向けて、横浜・都市デザインの役割を再設定する

（1）（2）で得られた知見をもとに、これからの横浜都市デザイン、都市デザイン室の役割を室



※順次、取り組み内容は様々な主体の参加を促すため、アカイブ化して発信する。

内で検討し、具体的な取組の方向性を整理します。

3. 実施スケジュールについて

	4月	7月	10月	1月	
展示	↔	↔ ↔	↔	↔	↔ 総括
講演	★ ★	★ ☆シンポジウム			
庁内会議	↔	↔			
未来会議			★ ★ ★ ★ ★ ★	★ ★ ☆総括	

4. 広報について

年間を通じ、都市デザイン 50 周年や参加者募集の広報を行います。また、1 年間の企画の中で得られた知見や議論の内容を記録として残し、庁内外の方と広く共有するため、既存の広報媒体とも連携しながら、冊子等の形でまとめていきます。

(1) 広報媒体例 ※調整中

都市デザイン室公式 Twitter (新設)、調査季報、季刊誌「横濱」

5. 50 周年企画における都市美対策審議会との連携について

企画で議論された内容については、都市美対策審議会にてご報告し、委員のご意見をいただきながら、今後の都市デザイン室としての具体的な取組について検討をしていきます。

6. その他の取組について

都市デザイン 50 周年に関わる、「横浜・都市デザインの 50 周年を振り返る」、「横浜のこれから 50 年を描く」、「横浜都市デザインの役割を再設定する」の各刻目において、大学や各種団体等と連携した企画を合わせて行うため、今後広く声掛けを行っていくとともに、連携手法について検討していきます。